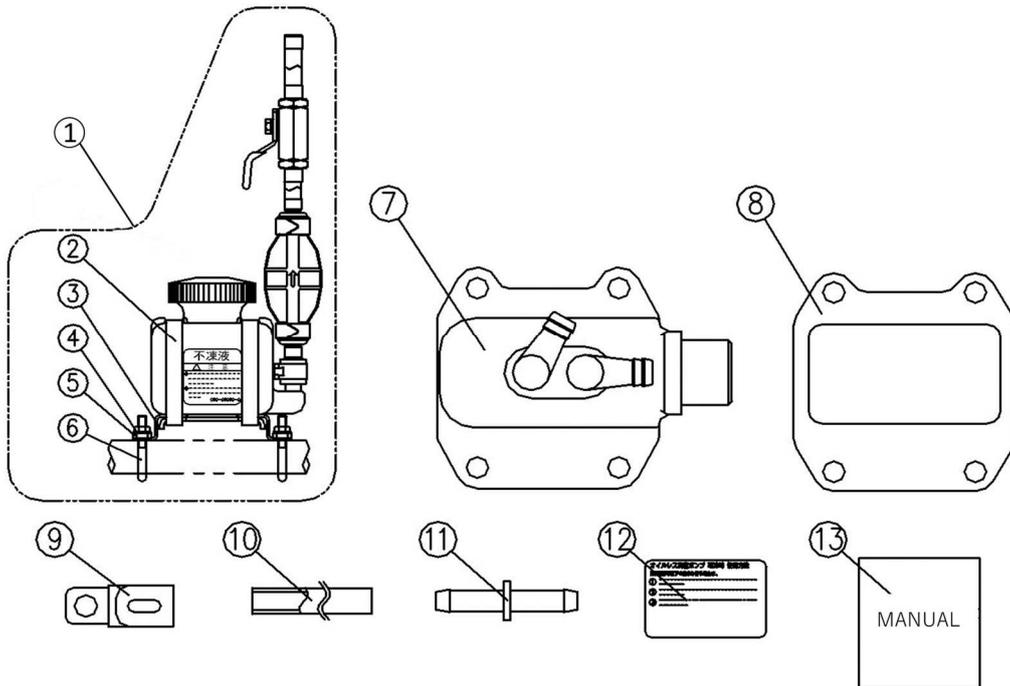


アンチフリーズキットマニュアル

1. はじめに

アンチフリーズキットは、バキュームポンプの凍結防止を目的として不凍液注入を容易に行えるキットです。また外気温 -10°C 以下で吸水を行う場合、吸水完了と同時にバキュームポンプ内に入った水が急激に凍結し、バキュームポンプが作動不能になることを防止します。



No.	名称	個数	備考
①	プライミングバルブアッシ	1	不凍液ポット付き
②	バンド	2	
③	マウントオイルポット	1	
④	スプリングワッシャ	4	
⑤	サポートプレート	2	
⑥	Uボルト	2	ナット付き
⑦	インテークエルボアッシ	1	
⑧	ガスケット	1	
⑨	クランプ	1	
⑩	パイプ	2	ポンプへ不凍液を注入時に使用。
⑪	コネクタ	1	
⑫	アンチフリーズコーションラベル	1	
⑬	アンチフリーズキットマニュアル	1	本書

2. 取付

2-1.準備

- (1) ポンプを安定した場所において作業を行います。
- (2) トップカウルを外し、エンジンが充分冷えていることを確認します。
- (3) 下記の工具を準備します。

使用工具	サイズ
めがねレンチ	10mm、13mm
T型ボックスレンチ (T型ユニバーサルレンチ)	10mm、13mm
ドライバ	マイナス(-)

2-2.マウントオイルポットの取付

使用部品	個数
② バンド	2
③ マウントオイルポット	1
④ スプリングワッシャ	4
⑤ サポートプレート	2
⑥ Uボルト (ナット付き)	2

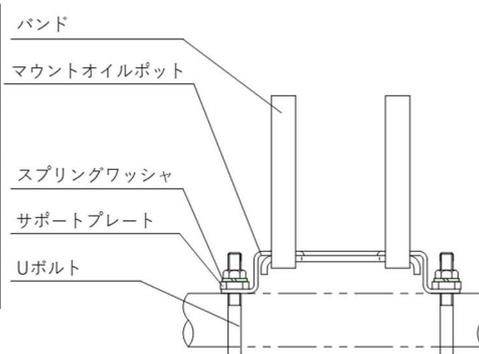


図 1

- (1) 部品は図 1 のように取付けます。
バンドは図 2 のように円形の差込孔をマウントオイルポットに取付けます。



図 2

- (2) マウントオイルポットの取付位置はバッテリーの後ろ側。
図 3 のように地面に対して水平になるように取付けます。



図 3

2-3.プライミングバルブアッシの取付

使用部品		個数
①	プライミングバルブアッシ	1
⑨	クランプ	1

- (1) 図4の丸印が示すようにクランプを45°の角度で取付けます。



図4

- (2) マウントオイルポットにプライミングバルブアッシを載せ、図5のようにバンドで固定します。

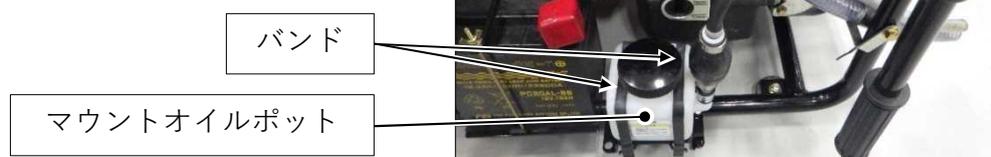


図5

- (3) 図6のようにプライミングバルブアッシのパイプをクランプで固定します。固定の際はパイプをつぶさないように注意してください。



図6

- (4) プライミングバルブアッシのパイプは図7のようにマフラに接触しないよう、取り回してください。パイプの取付け位置は次頁2-4.(2)を参照ください。



図7

2-4. インテークエルボの組換え

使用部品		個数
⑦	インテークエルボアッシ	1
⑧	ガスケット	1
⑪	コネクタ	1

- (1) 図8のように既存のインテークエルボアッシを取り外してください。
 ※ガスケットは取り外して新品に交換します。エアアシストパイプは2-4.(2)で再使用します。

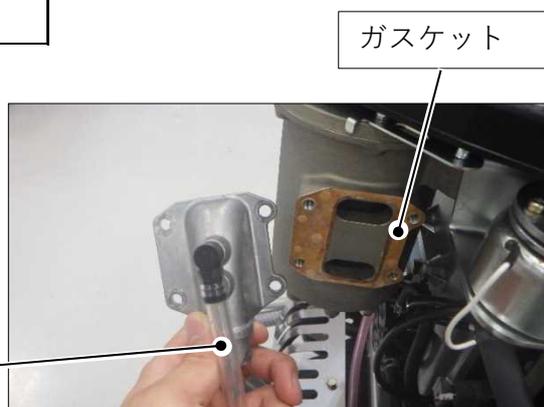


図8

- (2) 図9のようにアンチフリーズキット付属のインテークエルボアッシを取付け、エアアシストパイプ、プライミングバルブアッシ用パイプ、バキュームパイプをそれぞれ確実に接続します。この時、プライミングバルブアッシ用パイプがマフラに接触しないように注意してください。

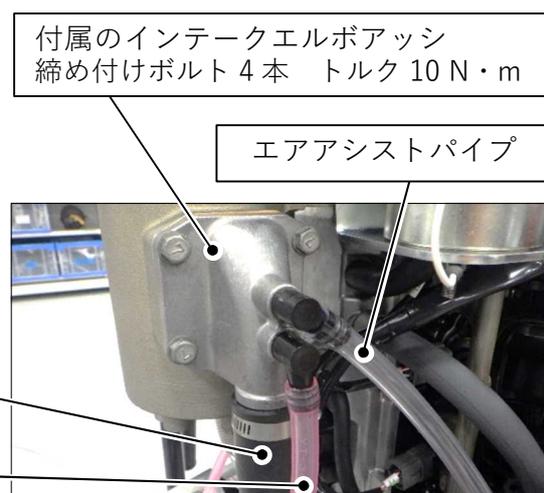


図9

- (3) 図10のようにエアアシストパイプの他端に付属のコネクタを取付けます。
 ※3-2.ポンプの保管時にて使用します。



図10

3. 使用方法

3-1. 寒冷地でのポンプ運転時

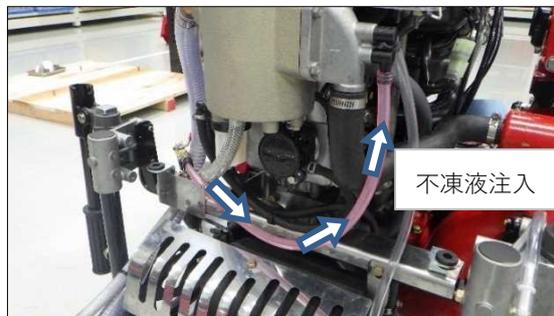
(1) 吸水前に不凍液バルブを開けます。

不凍液バルブ



(2) プライミングバルブを3回握り、不凍液をバキュームポンプに注入します。

プライミングバルブ



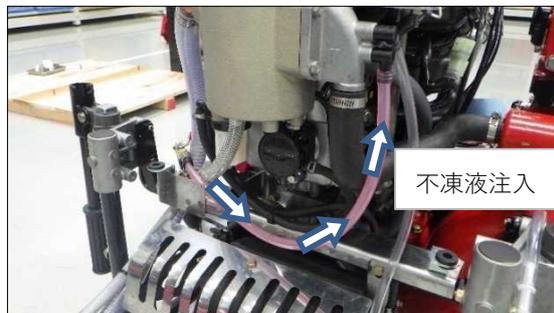
(3) エンジン始動後、不凍液バルブを開いたままバキュームポンプを作動させて吸水を行います。

バキュームポンプ作動



(4) 吸水完了後に再度プライミングバルブを3回握り、不凍液をバキュームポンプに注入します。

プライミングバルブ



3-2.ポンプ保管時

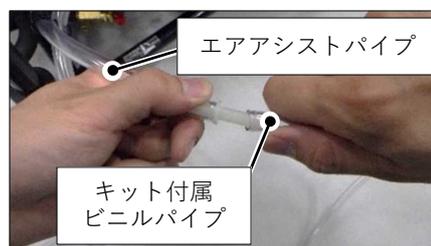
- (1) 不凍液（LLC）を不凍液ポットの UPPER の位置まで入れます。

※約 400mL 入ります。

- (2) エンジン停止状態にて、吸水管を外し、ポンプ内の残水処理を行ってください。
(3) 完全排水後に吸水口キャップを閉じ、マフラドレンバルブ、ポンプドレンバルブを閉じてください。
(4) マフラ排水バルブにポンプ本体同梱部品のビニルパイプとキット付属のビニルパイプを接続します。



- (5) エアアシストパイプの先に付いているコネクタに、キット付属の 2 本目のビニルパイプを接続してパイプを延長させます。



- (6) (4)と(5)のビニルパイプの他端を不凍液ポットのキャップを外し、中に入れます。
(7) 下記の手順で運転を行い、不凍液ポット内の不凍液を吸わせませす。

- a,自動吸水スイッチを ON にします。
b,放水バルブハンドルを数回開閉して残水を処理します。
c,エンジン始動します。
d,スロットルダイヤルを吸水の位置にします。
e,バキュームポンプを作動し、エンジンが自動停止するまで（約 30 秒後）運転します。



- (8) マフラ排水バルブを閉じ、各ビニルパイプを外します。
(9) 最後に不凍液を不凍液ポットの UPPER の位置まで入れ、ポンプを保管します。

《注意》

- ・不凍液の吸水前にバキュームポンプの空運転を 10 秒ほど行くと凍結防止に効果的です。
- ・ポット内の不凍液はバキュームポンプを作動すると約 10 秒で無くなりますが、エンジンが自動停止するまでの約 30 秒間はバキュームポンプを作動してください。
- ・寒冷時使用(外気温 -10°C以下を目安)の場合のみ不凍液バルブを開いてください。

1BM-31578-0